

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3371100417		
法人名	株式会社 雅		
事業所名	グループホーム 青い鳥2		
所在地	岡山県備前市吉永町南方652-1		
自己評価作成日	平成26年7月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障がい者生活支援センター		
所在地	岡山市北区津高628-1		
訪問調査日	平成26年8月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・自家栽培で利用者と一緒に収穫した野菜を使って全てスタッフの手作りの料理を提供しております。 ・行事担当者が中心になり1年間を通して季節に応じた行事を考え、利用者やその家族に季節感を感じてもらい楽しんでもらえるよう取り組んでいる。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>利用者がとても落ち着いており、職員がよく寄り添って対応しています。利用者の思いを行動や言葉から感じ取り日々のケアに活かしています。又家族の意向など積極的に引き出す様努め、外出や外泊又、入浴支援などの協力も得ながら自分らしく暮らせるホームとして取り組んでいる様子が窺えます。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「家庭の延長」という理念を皆で共有し、一人ひとりがその人らしく安心して暮らせるよう支援しております。	全職員が理念を共有する為、その都度勉強会を行っています。また毎月の目標も立てています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物、デイサービスへ出掛けたり地域行事への参加、又は事業所の行事に参加して頂く等、地域の一員として交流しております。	地域の方がボランティアで利用者と一緒に掃除をしたり、2か月に1回演奏会をしてくれませう。地域の行事に参加する準備を進めており又、近所の幼稚園にあいさつに行くなど地域との交流に努めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症についての交流会へ参加するなどし、情報交換の場へ積極的に参加しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行い施設内の現状、家族の意見等、情報交換しサービスの向上に努めております。	家族、民生委員、市議員、地域包括支援センター職員が参加しています。事業所からは管理者とスタッフが順番で参加しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議等を通じ担当者と連絡を取り合い、施設の実情、サービスの取り組みなど情報交換をしております。	入居希望者の待機情報の把握を事業所と協同して行ってもらえないか相談するなど情報交換と協力体制に努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の安全を考え常に、スタッフ同士話し合いやむを得ない場合など、迅速に対応しケアに取り組んでおります。	職員からケアに対する相談をその都度管理者が受けケアカンファレンスを行い、身体拘束に備える恐れがある場合、その代替の方法を検討し実施しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	関連法について学び、自宅や施設内での虐待が見過ごされる事のない様、家族を含め相談し防止に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の問題について代表者が対応しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者及び家族の不安や疑問点などを把握し、理解・納得をして頂けるよう丁寧に説明しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議等を通じ利用者及び家族の意見、要望に耳を傾け、的確な対応に努めております。	面会時等に出来るだけ意見や要望を話してもらう様雰囲気づくりに努め運営に反映するよう心掛けている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度のミーティングを設け全スタッフで意見交換しケアサービスの向上を図っております。	キッチン回りで必要なもの、空気清浄器の購入等も即対応し、設備の面からもサービスの向上を図っており、会議に代表者も参加しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の実績を把握し、向上心を持ち働けるよう環境作りに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加しやすいよう勤務を調整するなど働きながらトレーニングできる環境を整えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設、市のグループホーム協会との交流等、勉強会を行い質の向上に取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、家族との面接を通じ、要望・不安等に耳を傾け現状を把握したうえで本人の安心を確保するよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との面接など連絡を密にとり情報交換し、お互いの関係を築けるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の要望を聞き、今必要としている支援をさせて頂くよう、提案も含めて対応しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活する上で、利用者の得意とすることを共有し、支え合える関係性を築いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙、及び年4回の広報にて生活状況を報告するなどし家族との連絡を密にしております。又面会などにて絆を深めて頂いております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、知人など面会時には気軽に面談できる環境を作り関係が薄れないよう努めております。	家族と一緒に毎月外泊して地域のお茶会に参加したり、結婚式や葬儀へ出席するなど家族の協力を得ながら関係継続の支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人でも孤立することのないようスタッフがきっかけを作り、お互いに支えあえるよう支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ移られた後も面会などを行い、必要に応じ相談など行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望に沿えるよう十分に話し合いながら対応など検討しております。	利用者の様子を家族に伝え、自宅での情報を聞いて思いの把握に努めています。又、担当を決めて、家族と相談しながら対応を検討しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族より情報を収集し、生活歴、生活環境などの把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人、家族との面談などから得た情報をもとに本人の生活状況にあったケアプランを作成しております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人ひとりに担当者を設け、課題など本人・家族を交えその都度、話し合いながら計画を作成しております。	職員間で現状の把握に努め柔軟な支援が行える様、家族や関係者と話し合いながら介護計画の作成に取り組んでいます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子など詳細に記録し職員間で情報を共有し問題点を常に話し合い介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに対し迅速に対応し柔軟な支援を行うよう取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩、買い物など地域の方との交流を行い心身共に安全で豊かな暮らしを支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月一度の往診、又はかかりつけ医への受診など本人・家族の希望にそった受診支援を行っております。	基本、職員がかかりつけ医の受診に対応していますが、家族が外出を兼ねて受診することもあり、その都度、希望に応じた受診支援に努めています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の気づき等かかりつけ医と連絡を取り合い、迅速で適切な受診が受けられるよう努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と連携を密にとり、家族も含め相談し合いながら状況に合わせ、必要な支援を行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設として、出来る事・出来ないことを十分に説明し、話し合い希望に沿えるケアが出来るよう訓練しております。	看取りは現在行っていませんが、今後行えるように職員の教育を行っております。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備え、迅速に対応できるよう訓練しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域、関係機関を交え、年2回以上の訓練を行い、安全に避難できるように実施しております。	消防署の職員が来て勉強会を行っていません。災害時、地域の協力を得られるように消防団に協力依頼に行き又、地域の方々に災害時は協力してもらえるように日々地域の方々と話をしています。	地域の方に災害時の避難誘導を協力してもらえるように、具体的にどのようなことを協力してもらいたいか話し合うことを期待します。火災以外の地震、水害時等の避難・対応のマニュアルを作ることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、言葉遣いなど、個々に合わせて声掛け対応をしております。	一人ひとりの生活歴や思いを大切にした対応、言葉かけに努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や思いを引き出せるよう、自己決定しやすいコミュニケーションを努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを大切にし本人の希望に合わせた支援をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分らしい選択をしやすいよう整理をしたり、季節に合わせたアドバイス等しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	収穫も含め季節を感じて頂ける食材を取り入れ、下準備などを通し、楽しんで食事が出るよう努めております。	食事の献立は職員が当番で担当し、準備や片づけを利用者と職員が一緒に行っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の状態を把握し、職員間で情報を共有し、個々に応じた支援をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立されている方は自分で口腔ケアをされています。又、こちらで一部介助させて頂いている方もおりますが、夜の洗浄剤はすべてこちらでさせて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛け、誘導など本人にあった自立支援をおこなっております。	自立の方もおられるが、排泄チェック表を利用して声かけ誘導をすることで、トイレでの排泄や排泄の自立に向けての支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物、運動など予防に努めておりますが難しい場合は処方薬にてコントロールしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日の入浴を楽しんで頂けるよう、又、拒否される方には声掛けを工夫するなど個々に合わせた支援をしています。	入浴を拒否する利用者には時間をおいたり、職員の交代で入浴を促し、極端に拒否する利用者は家族が時間に来て協力してもらうなど個々にそった支援に努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整、環境整備など日々の状況に応じ快適に休息して頂けるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を参考に薬の目的、副作用など把握し、日々の症状の変化を確認しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりにあった役割を持って頂き、本人の希望に沿った生活が出来るよう支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩、季節ごとの外出、買い物など本人の希望を伝え家族等と協力しながら外出支援をしています。	お店で好きな物を買ったり、近所のパン屋にコーヒーを飲みに行くなど日常的な外出と、盆・正月の外泊など家族と協力しながら支援に取り組んでいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は預っております。必要な場合は、本人と共に買いに行ったり家族とも相談し、スタッフが代理で購入したりしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が出れる状況であれば電話を代わり、わり家族との通話を楽しんで頂いております。年賀状や暑中見舞いも書いて頂き家族へ送っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの飾りを利用者と共に作成共用スペースに飾り、制作後も楽しんで頂いております。スペースが安心で安全な空間となるよう工夫しております。	日中過ごす事の多い居間は利用者が居心地よく過ごせる様な環境づくりを心がけています。一人になれる小さい空間にソファとテーブルを置いたり、壁に季節の飾り付けをするなど共同スペースに工夫がみられました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室は個室となっており自由に出入りできます。共用スペースでも思い思いに過ごして頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境の変化が少ないよう慣れたものを使用させて頂き、本人の希望に沿い居心地よく安全に過ごせるよう工夫しております。	居心地よい居室づくりを心がけ日々の生活を自分らしく過ごしてもらえる様配慮しています(自室で本を読んだり好きな相撲の雑誌を毎月取って楽しんでいる利用者など)。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりが安全で快適な生活を送れるよう工夫し、個々に自立した生活となるよう努めております。		